

2-5 給水装置

(1) 給水管の修繕等に関する認知度

問 給水管（※1）は、お客さまの財産であり、修繕等はお客さまが水道工事事業者に依頼して行うこと（※2）について、ご存知ですか。

※1 お客さまが、水道水を利用するために、配水小管又は他の給水装置から分岐して家屋内等に引き込んだ管です。

※2 道路部分などに埋設されている一部の給水管は、水道局が修繕します。

1) 知っている

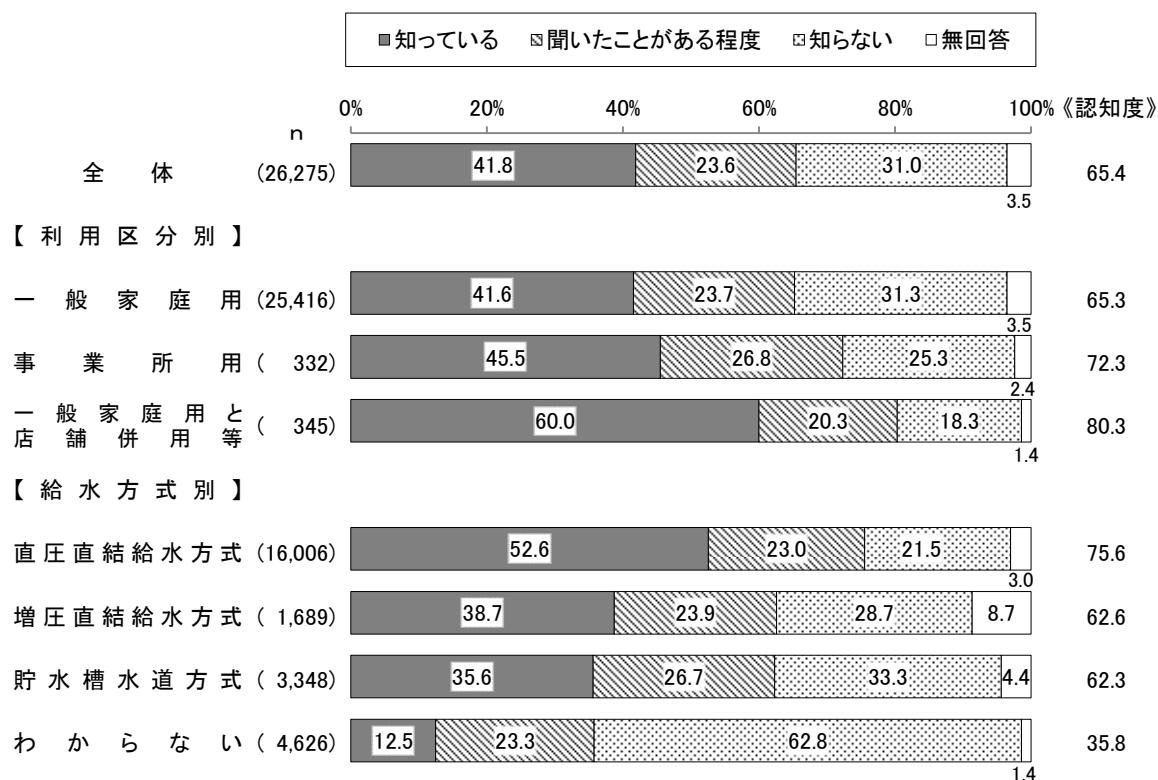
2) 聞いたことがある程度

3) 知らない

〔D：問6、H：問6〕

〔調査結果〕

① 給水管の修繕等に関する認知度（利用区分別、給水方式別）〈図表2-5-1〉



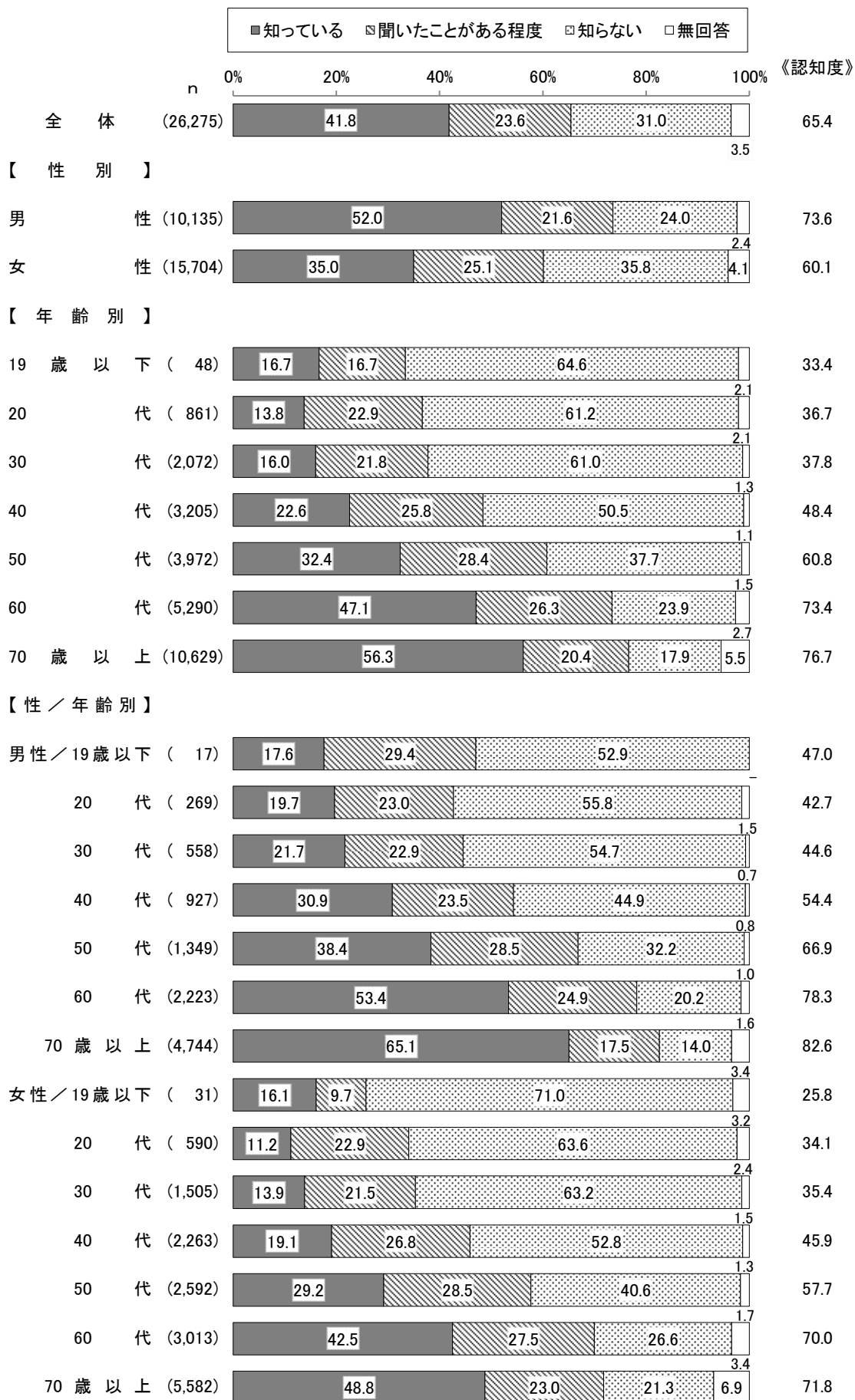
＜特徴＞

○全体では、「知っている」は41.8%で最も高く、「聞いたことがある程度」(23.6%)を合わせた《認知度》は65.4%となっている。一方、「知らない」は31.0%となっている。

○利用区分別では、《認知度》は、一般家庭用と店舗併用等で80.3%と最も高くなっている。

○給水方式別では、《認知度》は、直圧直結給水方式で75.6%と最も高くなっている。

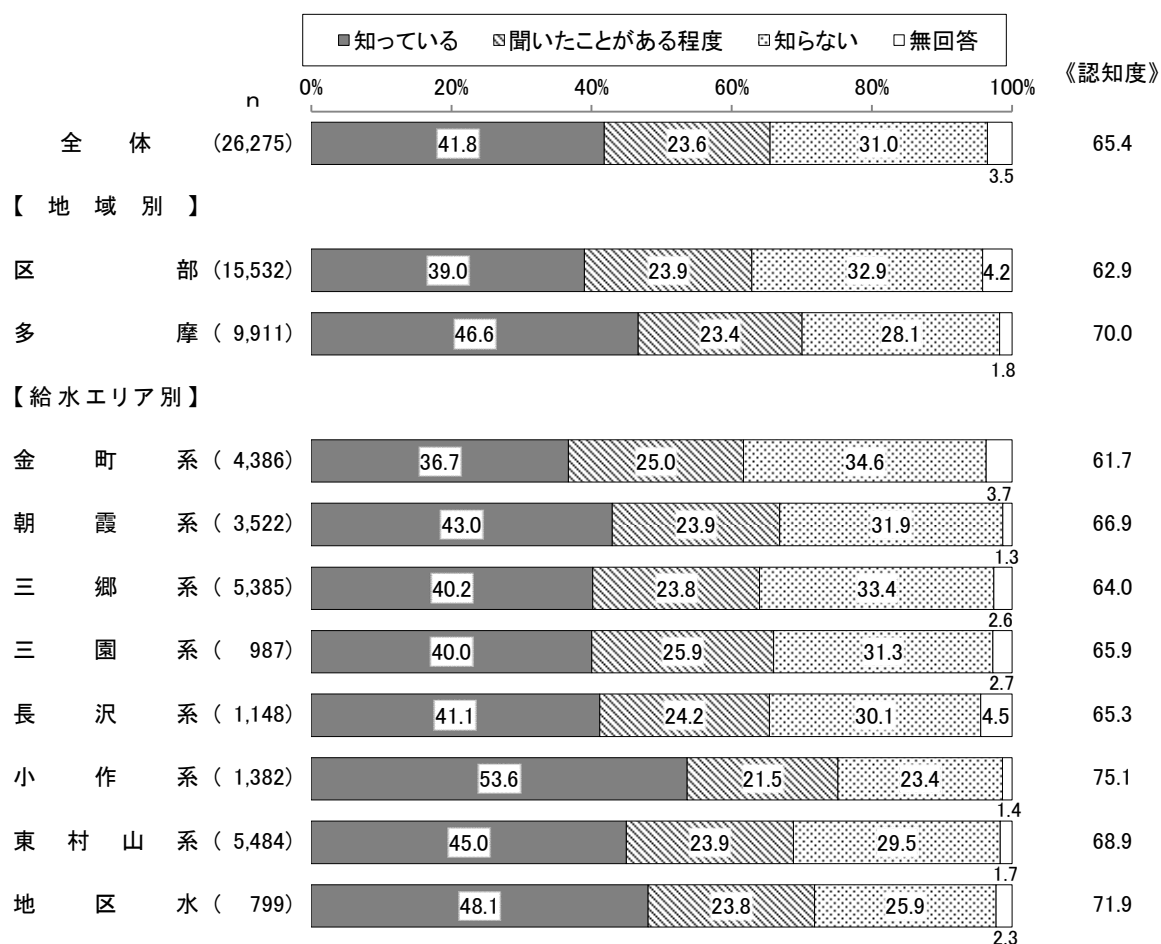
② 給水管の修繕等に関する認知度（属性別）〈図表２－５－２〉



<特徴>

- 性別では、《認知度》は、男性（73.6%）の方が女性（60.1%）より13.5ポイント高くなっている。
- 年齢別では、《認知度》は、19歳以下（33.4%）で最も低く、年齢が上がるにつれ割合は高くなり、70歳以上（76.7%）で最も高くなっている。
- 性・年齢別でも、《認知度》は、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれ割合は高くなり、男性の70歳以上（82.6%）で最も高くなっている。

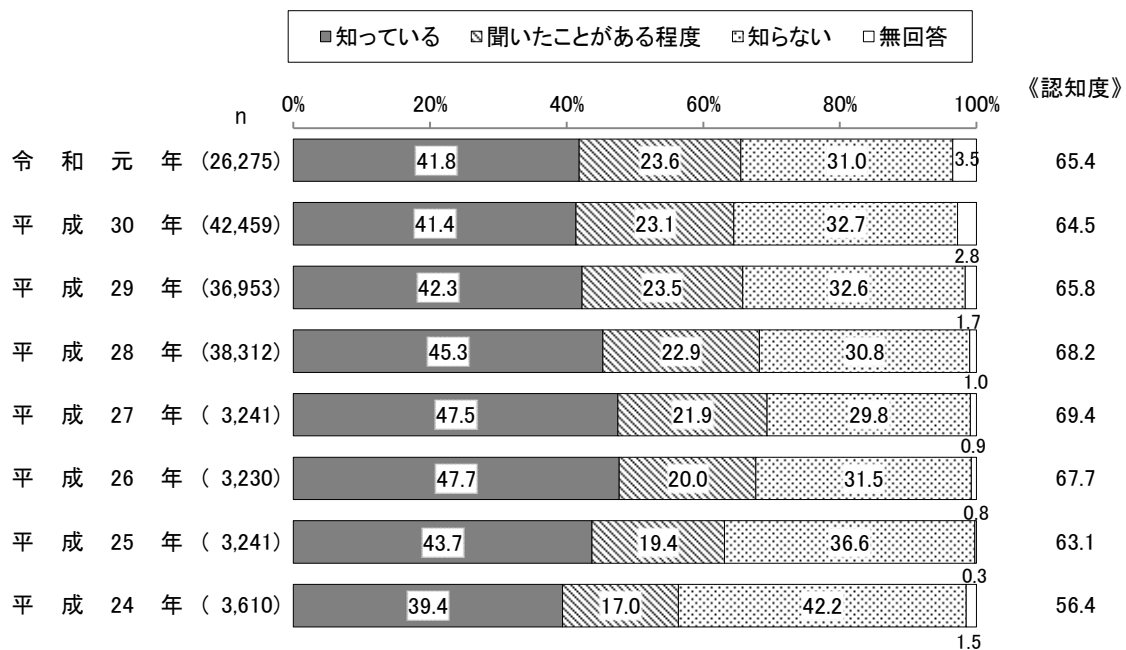
③ 給水管の修繕等に関する認知度（地域別、給水エリア別）〈図表2-5-3〉



<特徴>

- 地域別では、《認知度》は、多摩（70.0%）の方が区部（62.9%）より7.1ポイント高くなっている。
- 給水エリア別では、《認知度》は、小作系（75.1%）で最も高く、次いで地区水（71.9%）、東村山系（68.9%）などとなっている。

④ 給水管の修繕等に関する認知度（時系列：全体）〈図表２－５－４〉



＜特徴＞

○前年度調査との比較では、特に大きな違いはみられない。

平成27年度と令和元年度を比較すると、《認知度》が平成27年度（69.4％）に比べて4.0ポイント減少している。